

2020年1月13日 特定非営利活動法人 全国文字通訳研究会 主催

## 第10回パソコン文字通訳シンポジウム

### 速報レポート



2020年1月13日（月）、東京はきれいな青空が広がり、暖かい一日となりました。

東京・三田の障害者福祉会館のシンポジウム会場はスタッフを合わせて約60名の参加でした。ほぼほぼ満席！「教育現場」という今までにないテーマをだったこともあり、非会員の方も20名近くいらっしゃいました。聞こえない子どもたちの情報支援や音声認識など、今、たくさんの方が直面している問題への関心の高さがうかがえました。お越しくくださった皆さま、ありがとうございました。

講師の方々はお忙しい中、このシンポジウムのために時間を割いてくださいました。それぞれ教育に関して熱い思いをお持ちで時間が足りないほどでした。

以下、速報レポートをお届けします。当日のスライド資料などはホームページにアップしてありますのでご覧ください。

<http://mojitsuken.sakura.ne.jp/wp/report/act-14>

（実行委員長・大場美晴）

---

### 第10回パソコン文字通訳シンポジウム

【テーマ】教育現場の情報保障をめぐって

【日時】2020年1月13日（月・祝）12:30～16:45

【場所】東京都障害者福祉会館 B1+B2

【主催】全国文字通訳研究会（略称 文字通研）

【後援】ろう・難聴教育研究会、みみより会、日本聴覚障害者コンピュータ協会

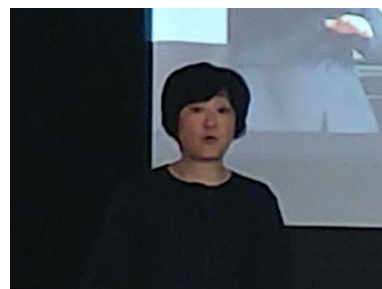
【内容】

- シンポジウム開催にあたって ～当事者の立場より～  
平川美穂子（NPO 法人 全国文字通訳研究会 理事）
- 講演1 「学校教育における合理的配慮の充実に向けて」  
庄司美千代氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官）
- 講演2 「ろう高校生のための情報保障  
—欲しい未来がなければ、自分で創る—」  
玉田さとみ氏（NPO 法人 バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター）
- 講演3 「大学における聴覚障がい学生支援について：  
明治学院大学の事例を中心に」  
岡田孝和<sup>のりかす</sup>氏（明治学院大学 学生サポートセンター障がい学生支援コーディネーター）
- 意見交換・質疑応答

## 【講演まとめ】 by 平川美穂子

庄司美千代さんには、「学校教育における合理的配慮の充実に向けて」というテーマで、学校教育における合理的配慮の検討について、障害者権利条約の批准に始まり、障害者基本法、学校教育法、障害者差別解消法といった法的背景をお話いただきました。

特別支援教育の支援員整備について、地方自治体の格差を考慮した予算配分、私学助成など資金面の話。また支援制度の充実のために、エビデンスが重要。合理的配慮によりどれだけの効果があったのかを視覚化して見せる必要があるという話でした。



庄司美千代氏

玉田さとみさんには、高校生に対する情報支援の実践を中心にお話いただきました。ろうの子どもに最適な教育環境を求め、「なければ自分で作る」という確固たる意志をもって情報保障を実現させていくエネルギーが大変素晴らしく、圧倒されるほどでした。

高校生に特化した情報支援を具体化して T-TAC Caption という遠隔文字通訳システム問形で実践し、その成果を世に向けてアウトプットし交渉につなげていくというプロセスには学ぶところが多く、大変感銘を受けました



玉田さとみ氏

岡田孝和さんには、大学での実践をもとに、音声認識による情報保障についてお話をいただきました。音声認識システムは声できれいに入力できるかが重要。講義のスピードとの兼ね合いもあり講義の情報保障では修正担当者は入れないそうです。音声認識とノートテイクを併用してそれぞれの利点を生かすという事例など興味深いものでした。支援を受ける学生の意見も多様なものであり、これからの文字通訳がどう音声認識技術を活用していくのか重要な示唆をいただきました。



岡田孝和氏

全体的なお話の中で以下のことが示されていると思います。

- 実際の教育現場の状況を把握する必要がある
- 合理的配慮の効果（エビデンス）の検証 その手法についても大きな課題
- やはり、人材、予算のウェイトは大きい

文字通訳研究会としては多くを学び、これからの向かっていくべき方向性を考えるヒントをいただきました。本日参加されたみなさんに多くの質問・意見が質問紙に書いて出されています。このシンポジウムの限られた時間では残念ながら消化しきれませんが、これからも、みなさんとの交流、意見交換、討論を深めていきたいと考えています。

本日はどうもありがとうございました。



平川美穂子

## 【リンク集】

---

当日紹介された団体や調査データなどはこちらです。

●文部科学省

<http://www.mext.go.jp/index.htm>

●文部科学省（特別支援教育について）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/main.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm)

●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

<http://www.nise.go.jp/nc/>

●独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（メールマガジン）

[http://www.nise.go.jp/nc/about\\_nise/mail\\_mag/](http://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag/)

●発達障害教育推進センター

[http://icedd\\_new.nise.go.jp/](http://icedd_new.nise.go.jp/)

●NPO 法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

<http://www.bbbed.org/>

●明晴学園

<https://www.meiseigakuen.ed.jp/>

●明治学院大学

<https://www.meijigakuin.ac.jp/>

●PEPNet-Japan

<http://www.pepnet-j.org/web/>

●日本学生支援機構「障害のある学生の修学支援に関する実態調査」

[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shougai\\_gakusei/index.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shougai_gakusei/index.html)

●特定非営利活動法人 全国文字通訳研究会

<http://mojitsuken.sakura.ne.jp/wp/>

以上